



「ツール・ド・九州 2025」フィールドスタディ

今年度、本校では株式会社マイナビが提供する探究学習プログラム「Locus」（ローカス）を活用しています。このマイナビが DIAMOND PARTNER となっている「ツール・ド・九州」（10月11日（土）13時から佐世保市中心部で「佐世保クリテリウム」開催）のプログラムを活用し、地元が抱えている課題や持続可能な地方創成の考え方について学習する機会を設けています。

5月のインプット講座に続いて、今回は地元の大阪鋼管株式会社坂根毅代表取締役社長および株式会社池田工業代表取締役池田晃寿様を講師にお迎えし、まず両社の事業内容や社会貢献等について話を聞きました。さらに、参加した生徒が探究活動の中で取り組んでいるテーマについて発表し、それについての助言をいただくという時間でした。



株式会社池田工業の皆さまと



大阪鋼管株式会社の皆さまと

探究活動の取組については、校内で教員や同級生に向けてプレゼンする機会があります。また、今年度からは長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、長崎総合科学大学の先生方にも伴走していただいています。ただし、民間企業の方からの助言は、活動成果の効果や実現可能性、活動を深掘りするのに必要な情報提供など、これまでとは違った視点での話も多く含まれており、生徒にとっては実りの多い時間になったと思います。

探究活動の中でフィールドワークは重要なプロセスですが、まだまだ学校と大学や地域との連携については、充実させていく必要があります。学校が子どもたちの未来を考えて教育活動を行っているのと同様に、地元の民間企業のみなさまは地域の未来を考えて（そこには将来の地元を支える子どもたちのことも当然含まれます）企業を経営されています。同じ未来を見据えて活動しているわけですので、もっともっと企業の方々との結びつきを強くしていきたいと思います。